

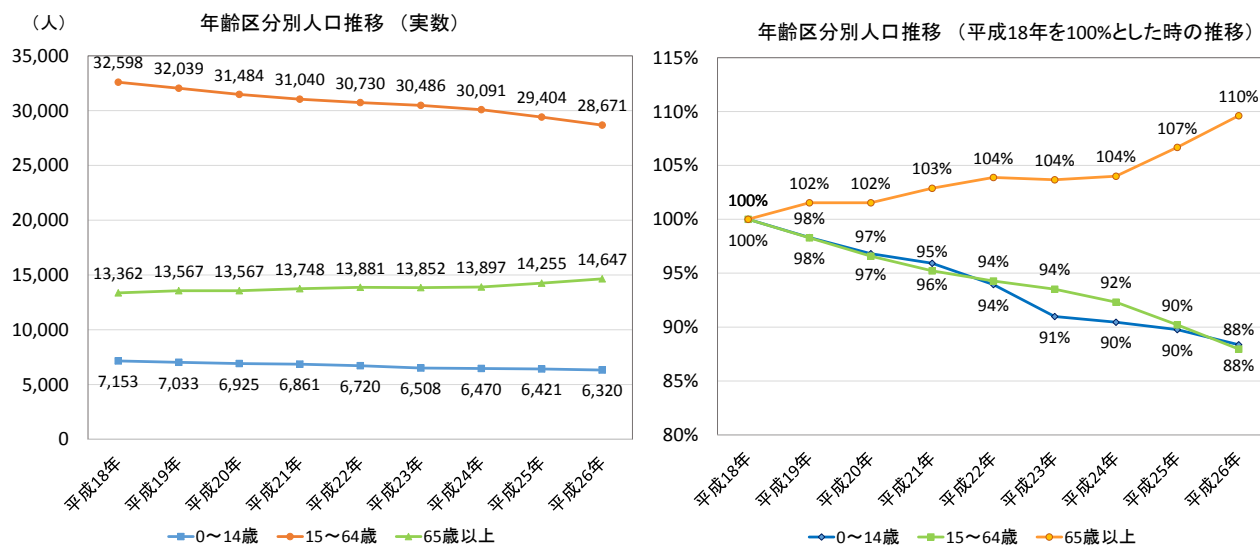
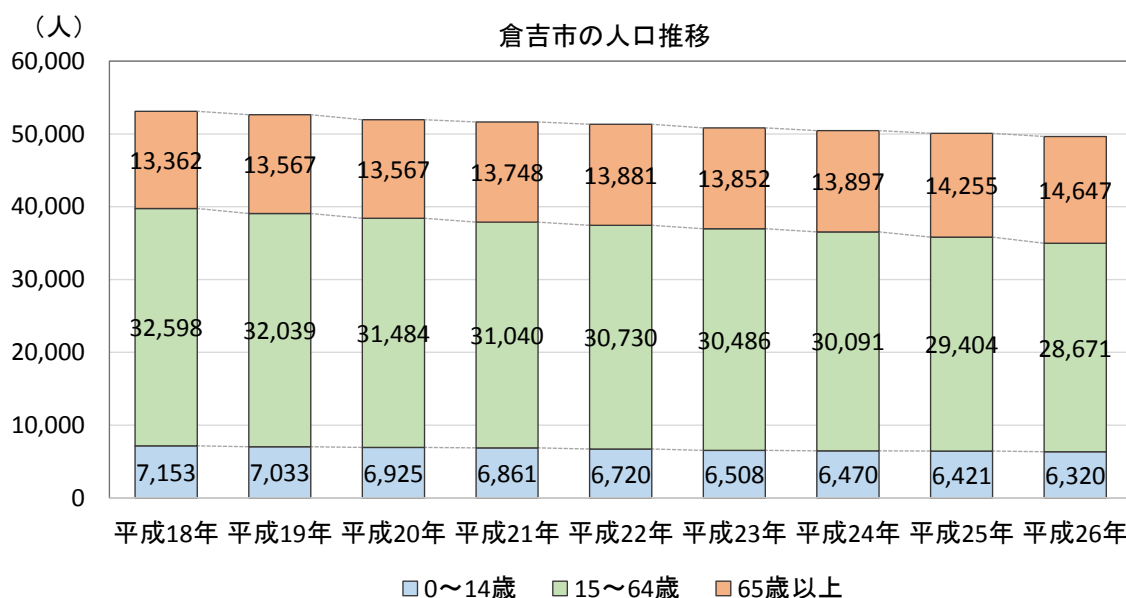
(1) - 1. 倉吉市の現状 【データ編】

1) 人口構造

①倉吉市の人口推移

- ・市の総人口は、平成18年から右肩下がりに低下。平成26年の総人口は、平成18年の93%にあたる約49,600人。
- ・年齢区分別人口推移をみると、年少人口、生産年齢人口は右肩下がりに低下。対して、65歳以上の老年人口は右肩上がりに増加。

	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
0～14歳	7,153	7,033	6,925	6,861	6,720	6,508	6,470	6,421	6,320
15～64歳	32,598	32,039	31,484	31,040	30,730	30,486	30,091	29,404	28,671
65歳以上	13,362	13,567	13,567	13,748	13,881	13,852	13,897	14,255	14,647
合計	53,113	52,639	51,976	51,649	51,331	50,846	50,458	50,080	49,638

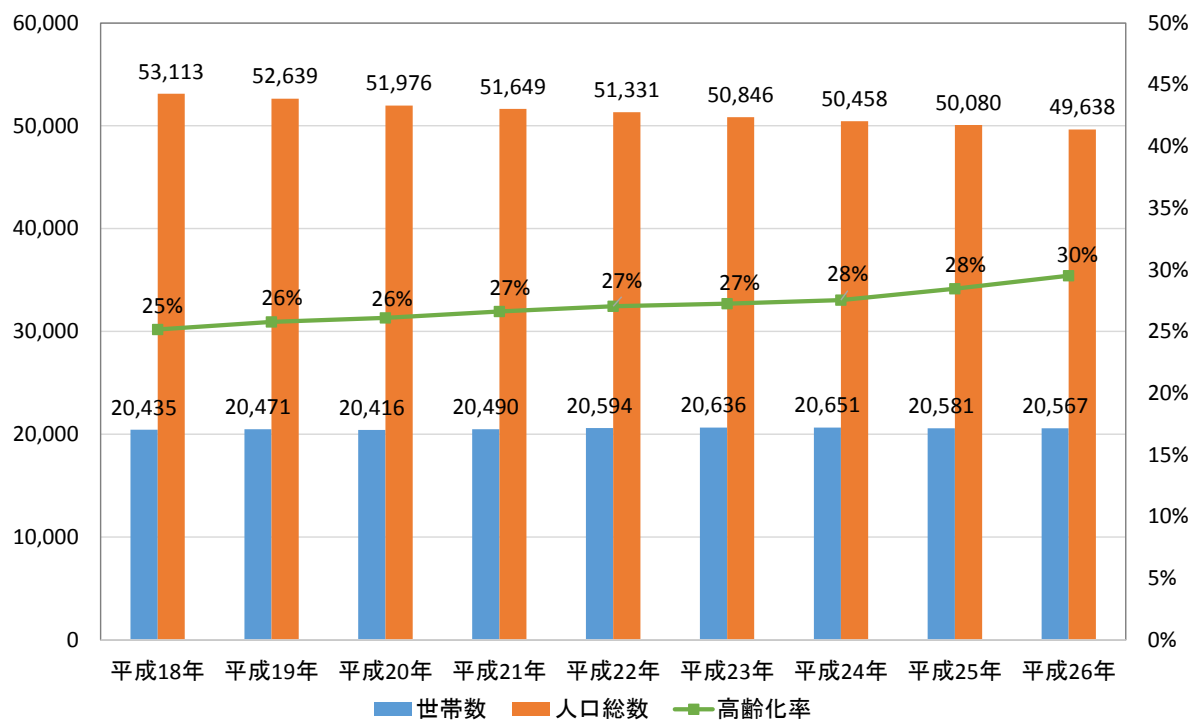


※住民基本台帳 年代別人口より作成。
 ※関金地区が統合された平成18年からの集計とする。

②倉吉市の世帯数、高齢化率の推移

- ・世帯数は、平成24年をピークに、近年減少に転じている。
- ・高齢化率は、右肩上がりに上昇。近年上昇率が高まっている。

(人or世帯)

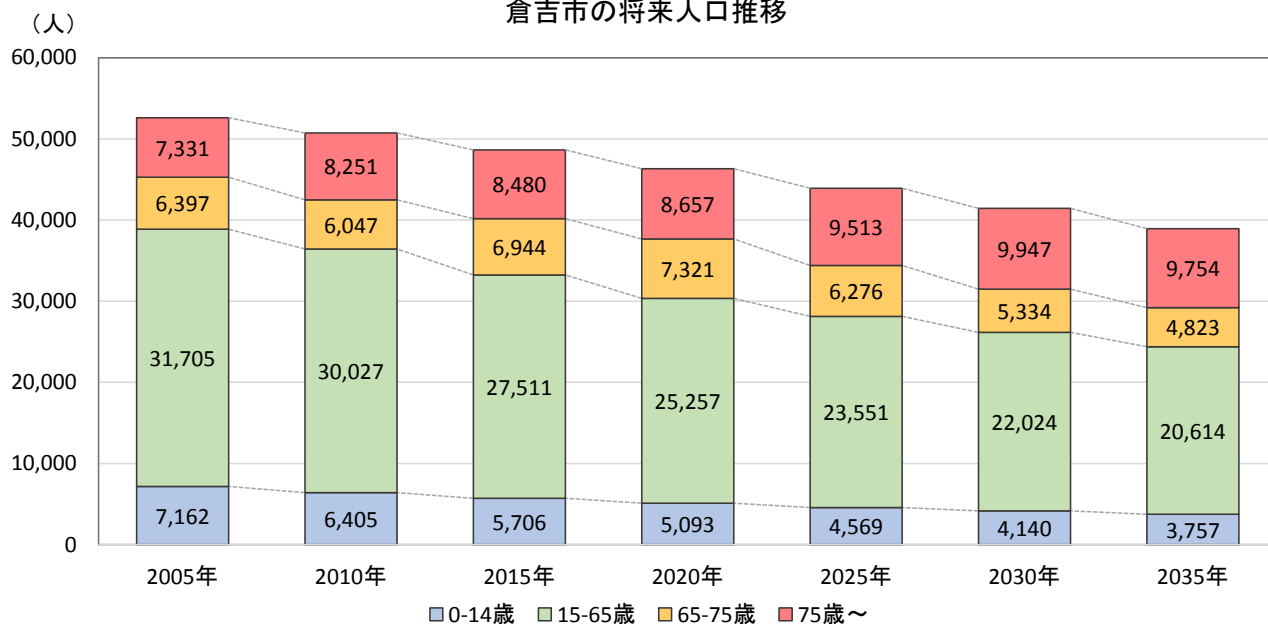


※住民基本台帳 年代別人口より作成。

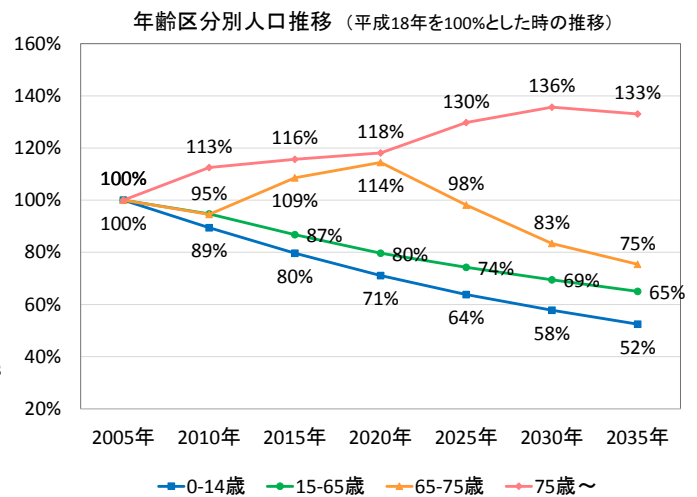
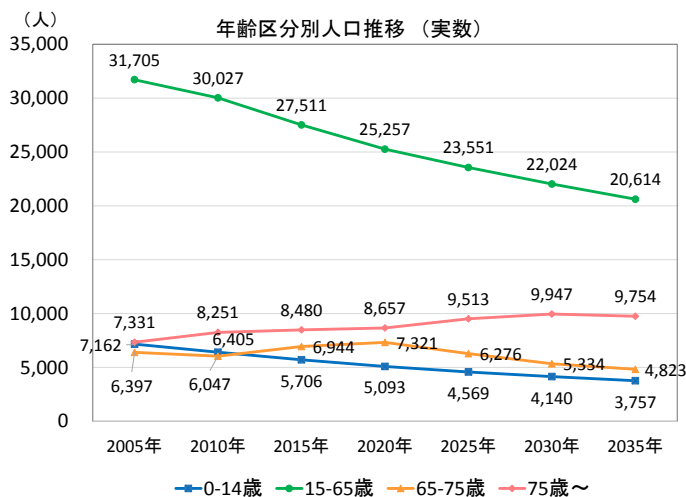
③将来人口推移

- ・将来人口は、右肩下がりに減少。
- ・年少人口、生産年齢人口は右肩下がりに減少。65歳以上の老年人口は、65-75歳は2020年をピークに減少、75歳以上の老年人口は2030年まで増加の傾向にある。

倉吉市の将来人口推移



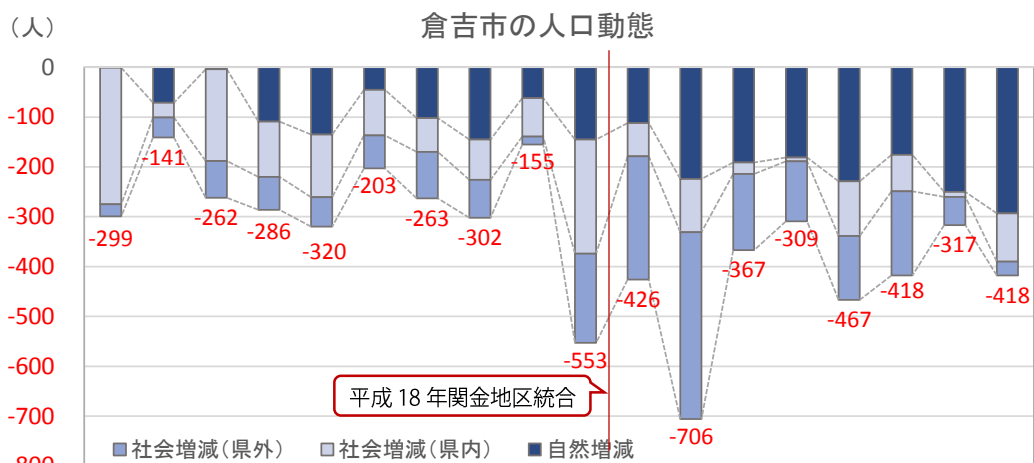
※国立社会保障・人口問題研究所 将来人口推計より作成。



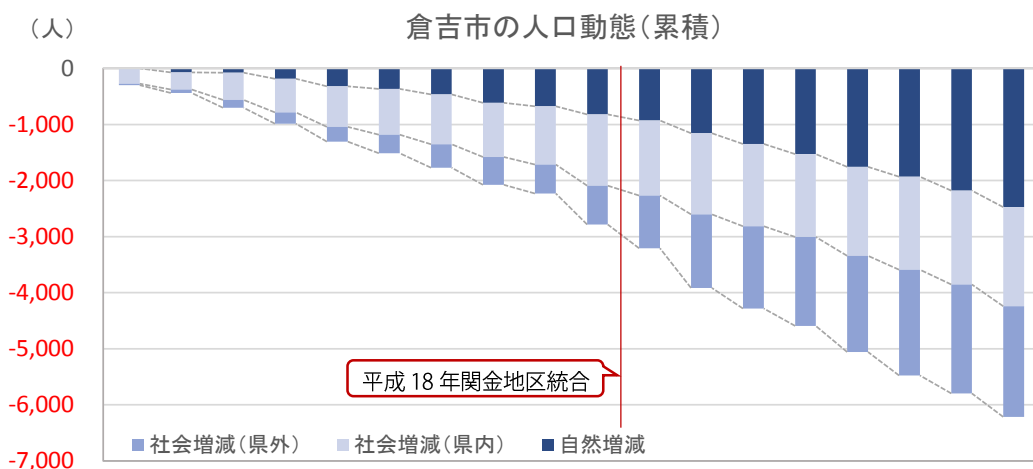
※国立社会保障・人口問題研究所 将来人口推計より作成。

④人口動態、県外県内への転出入

- ・平成17年～19年に、特に県外への大幅な社会減が起こっている。
- ・ここ数年は、社会減の数は減少している。



平成9年 10年11年12年13年14年15年16年17年18年19年20年21年22年23年24年25年
8年



平成9年 10年11年12年13年14年15年16年17年18年19年20年21年22年23年24年25年
8年

※倉吉市市勢要覧より作成。